

日蓮大聖人御書全集

によにんぼうごへんじ

女人某御返事

新版
2149

によにんぼうごへんじ

女人某御返事

てみればものもさわらず、夢ゆめうつつわかずしてこそお

わすらめ。訪といぬべき人のとぶらわざるも、訪うらめしくこ

そおわすらめ。によにん おんこと女人の御事として、親子おやこのわかれにみをす

て、形かたちをかうる人すくなし。変おとこのわかれは、ひとひび。夫

夜々よるよる・つきづき・としどしかさなれば、月々いよいよこいし

さまさり、勝おさなき人もおわすなれば、幼たれをたのみてか人

成ならざらんと、ひとかたがた、誰さこそおわすらるれば、我身わがみも

参まいりて心をもなぐさめたてまつり、慰また弟子をも一人つ

でしひとり

恋

頼

誰

身捨

別

日々

夫

ひと

変

形

重

年

々

月

々

夜

夢

現

分

かわして御はかの^墓。